

上信越：高妻山

- ◆日程 2020年11月1日(日)
 ◆メンバー L: OY, SD, OT, MD, TY
 ◆天候 晴

戸隠連峰と妙義山を3日間で巡る山行の中日である今日は、日本百名山の一つである高妻山だ。戸隠連峰の裏手側にあるが最高峰だ。昨日に続いて晴天だが放射冷却により冷え込んでおり、テントの表面にも霜がバリバリに張り付いている。計画通り弥勒(みろく)尾根に取りつく。登りルートは他に一不動避難小屋に向けて大洞沢沿いに登るコースがあり、昨日の戸隠山への登りに使ったが、岩場が多いうえに雪が残っていたため、行程の長い今日は選ばなかった。弥勒尾根はブナ林で覆われており、雪も少なく歩き易い。急な登りと緩斜面が交互に出てくる。ブナ仙人という大木で猿が二匹寛いでいる。仙人が姿を変えて僕らの様子を窺っていたのに違いない。五地蔵山の直下に差し掛かり、残雪が現れた。更に五地蔵山からの下り斜面は北側のため路面が凍結しており滑り易い。チェーンスパイクを用意してあれば楽ちんなのだが。右に目をやると8月末に登った火打・妙高が見える。隣同士なのに火打側だけが冠雪している。高妻山の直下では雪の急斜面で更に滑り易く、大いにてこずった。帰りは要注意だ。

多くの登山者がひしめく山頂からは富士山から日本海まで遮るものが無く見渡せる大パノラマが広がっていた。特に北アルプスは槍穂高から後立山を経て梅海新道まで一直線に連なって見える。富山湾の向こうには能登半島。東には雨飾山も。これも8月末に登ったのだが雪が付いているように見える。長くきつい登りだったが、この眺望で報われた気分だ。



下りは雪が踏み固められてやたらに滑る急斜面が暫く続く。コース脇の木や笹など、掴めるものは何でも掴みながら、そしてSDさんにお助け紐を出してもらい、何とか通過した。雪がなくてもぬかるみでこれも滑り易い。と言う訳で、五地蔵山からは当初計画の一不動～大洞沢のルートは取らず、歩き易い弥勒尾根の紅葉したブナ樹林を下った。

下山後は、温泉&戸隠そばの定番コース。これでも十分に満足だが、キャンプ場に戻って肉を仕入れた。昨晚に引き続き、焚火を囲んで乾杯するのだ。皆でワイワイやりながらのビールは長い一日を締めくくるのに相応しい。屋外なら三密の心配もない。曇が出てきたからか、昨日ほどの冷え込みではない。今夜はぐっすり眠れそうだ。(記: OT)

CT: 戸隠キャンプ場 6:50 - (弥勒尾根) - 五地蔵山 9:35 - 高妻山 11:35/11:55 -
 五地蔵山 13:30 - (弥勒尾根) - 戸隠キャンプ場 15:10